

日比谷公園 さくらMAP

ソメイヨシノ

品種改良により作られた園芸種。東京の染井の植木屋が明治5年頃に、複数の桜を掛け合わせて開発しました。現在も日本中に数多く植えられている桜です。

ヨウコウ

園芸種。1981年に新たに加わった、桜界の新メンバー。アマギヨシノとカンヒザクラを交雑させてつくられた愛媛生まれの交雑種です。

ヤマザクラ

自生種。
万葉集にも詠まれており、古くから日本に存在する品種です。
八代将軍徳川吉宗が好んだことから、18世紀の江戸の町にはヤマザクラが増えました。

オオカンザクラ

園芸品種。カンヒザクラとオオシマザクラ（あるいはヤマザクラ）の交雑種と考えられる。埼玉県川口市安行にあった原木から各地に広まり、各地で栽培されるようになりました。

垂れ桜

自生種、園芸種両方が存在し、現在は様々な種類があります。平安時代の文献によると「糸桜」「したり桜」等の呼び名があり、古くから日本人に親しまれてきた桜です。

カンヒザクラ

自生種。古くから日本列島の南側や台湾で見られる品種です。桜を育てる上で、様々な品種改良に用いられました。ヨウコウの親でもあります。



●参考文献●
佐藤俊樹『桜が創った「日本」ソメイヨシノ起源への旅』(2005、岩波新書)
山田孝雄『櫻史』(1990、講談社学術文庫)
●参考用語●
・『園芸品種』は『栽培品種』と同義。どちらを用いても可
・『自生種』とは、人の手を加えず、野生で生えてきた植物を指す